

わが職場

当社は、安政2年（1855年）に大阪道修町に近江屋の屋号で菓種商として創業し、大正6年の会社設立から我が国の化学薬品工業の発展と歩調をともし、幾多の試験を乗り越えつつ着実な発展を遂げてまいりました。製造部門は、製塩の

際の副産物として炭酸マグネシウムが出来ることに着目し、大正8年に高松工場を建設したことを起源としています。以来、私たちは化学専門商社でありながら同時にメーカーとして、常に高品質、高効率を追求し続けてまいりました。

高松工場はガラスライニング、ガラス、ステンレス等の耐食性装置を備えた多彩なマルチプラントを有し、得意な塩素化、チーブチル化反応等により、電子材料、医薬品、農薬、樹脂、樹脂添加剤、

機能製品等の原料、製品を数十kgから数百トンまで、無機、有機、高分子と多岐にわたり受託製造しております。また、事前検討のための実験設備、中間実験設備、高品質の要望に対応するためICP、GCMs、GPC等、微量分析が可能な機器も増強してまいりました。今年には高粘度反応用の第1種圧力装置も設置いたしました。

当工場は化学工場のため、安全第一を掲げ、教育訓練には特に力を入れていきます。製造部員には危険物取扱者取得、ボイラー技士取得、フォークリフト技能講習受講を義務づけ、その他必要な資格の取得を推奨しています。また、化学物質による健康障害防止、事故防止のため、法改正など最新情報の収集と作業環境測定、安全データシートを利用したリスクアセスメントを実施し、作業環境の改善と適切な保護具等の着用に努めておりま

す。安全衛生活動としては、毎月の安全衛生委員会と定期的の実施する3Sパトロール、防災訓練の他、生産前会議にて原料、製品の性状と安全な取り扱い方、注意点の教育を作業者に対して行っております。

近年、人材確保が難しい状況になっていますが、幸い当工場は工業高校化学科、大学の化学系学部出身者を毎年採用している結果、18才から65才と幅広い世代構成になっております。社員一人一人のストレスチェックを行うことでメンタルヘルス面についても留意し、今後もベテランの経験と新人のフレッシュな考えを融合しながら、活気にあふれ魅力ある職場作りに努めて参りたいと考えております。

イヌイ株式会社高松工場

取締役高松工場長

三瀬 博喜